

La vida de HONDURAS 土屋晶子さんからのお便り

スペイン語で「ホンジュラスでの生活」という意味です。 Vol.08

土屋晶子さんは平成18年6月から青年海外協力隊隊員として、中米のホンジュラス共和国で活動しています。



¡Hola todos! ¿Cómo están? こんにちは、みなさん！お元気ですか？

今回は少し目線を変え、別の職種の隊員のホンジュラスでの生活を紹介してもらいます。同じダンリ市で小学校の算数の先生として働く、谷川由佳さんに記事を書いてもらいました。ホンジュラスの子どもたちの生活をのぞいてみましょう。

うらやましい？ 小学校の「半日授業、3か月の長期休暇」

御代田町のみなさん、こんにちは。小学校教諭隊員として活動している谷川です。まず、ホンジュラスの小学生の生活を紹介します。

日本とは、一日の流れから大きく異なります。7時に授業が始まり、9時頃にメリエンダと呼ばれる軽食の時間になります。ここで子どもたちは朝ごはんを食べ、昼食前の12時に終業します。そして学校の1年は2月の中旬に始まり、11月中旬に終了し、約3か月の長期休暇に入ります。「半日授業、しかも3か月も休みがある」と聞いてうらやましいと思う人もいるのではないのでしょうか？

3か月も休みがあるということ…子どもたちにとっては喜ばしいことかもしれませんが、逆に言えば授業時間が少ない、ということにもなります。さらに、先生たちによるストライキが行われることもたびたびあります。主に賃金問

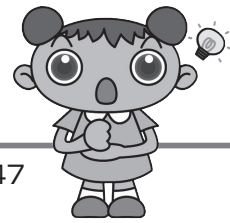
題が原因ですが、長いときには1か月近くストライキが続き、当然学校も休みになります。このため、教科書を終了せずに1年が終わってしまうことも珍しくありません。この国では当たり前のように続いてきたこの悪しき慣習。すなわち先生たちも十分な教育を受けてきたとは言えず、時には簡単な図形の面積を求められない、分数の計算を間違える先生もいるのです。そして生徒たちは自分の教科書を持つことができず、2~3人で1冊の教科書を共有しています。授業前に他の生徒による書き込みを消してから…という光景も当たり前なのです。

日本の教育システムに比べると、不十分に感じてしまっていますが、最後に何よりも皆さんに伝えたいことがあります！ここ陽気なラテンの国では、子どもたちから受ける印象も日本とは随分違います。日

本の子どもたちは「ストレスフル」と言われていますが、ここの子どもたちからはストレスなど感じられません。自由気ままで、とにかく人なつこくて、おおらか！感心したのは、たとえ分からないとしても積極的に発言し、たとえ間違えてもそんなことお構いなしで学べる素直な姿勢です。また、生徒同士で教えあう姿もよく見られ、学歴・競争社会の日本に比べると「学び」そして「友達との交流」を純粹に楽しんでいる印象を受けます。さらに家族の絆がとても強く、休日には家の手伝いをする姿をよく目にします。畑ではお父さんの手伝い、家では家事や弟・妹の子守などお母さんの手伝いを、嫌な顔1つせず当然のようにしているのです。子どもたちのまっすぐな目、屈託のない笑顔、ひたむきな姿には教えられることも多く、私の活動の原動力になっています。



環境衛生情報



生活環境課 環境衛生係 Tel 32-3111 内線 47

みんなの力で

地球温暖化を防ぎましょう

5

車は「酸化炭素(CO₂)を
たくさん出すけど何とかならないの？」

日本が京都議定書で世界に約束した、「1年間に排出する温室効果ガスの量を1990年の排出量から6%減らす」ことを実現するため日本政府は「チーム・マイナス6%」と銘打った国民運動を展開しており、多くの人や企業がこの「チーム・マイナス6%」に参加しています。

今回は、「チーム・マイナス6%」が、数あるエコドライブ(温暖化防止や資源の節約につながる車の使い方)の取組の中で、効果や実践のしやすさから最も勧めたいという10の項目「エコドライブ10のススメ」を紹介します。高価な燃料を節約するためにも早速実践してみましよう！

☆長い信号待ちや渋滞などで5秒以上停車する場合は、エンジンを停止し、発進時にエンジンを再始動させるほうが燃料の消費が少なく省エネです。ただし安全には十分注意してください。

※次回は「みんなの力で地球温暖化を防ぎましょう」の最終回、地球温暖化防止クイズなどを掲載予定です。

1

ふんわりアクセル『eスタート』

「やさしい発進を心がけましょう。」

普通の発進より少し緩やかに発進する(最初の5秒で時速20キロが目安です)だけで11%程度燃費が改善します。やさしいアクセル操作は安全運転にもつながります。時間に余裕を持って、ゆったりとした気分運転しましょう。

2

加減速の少ない運転

「車間距離は余裕をもって、交通状況に応じた安全な定速走行に努めましょう。」

車間距離に余裕を持つことが大切です。車間距離を詰めたり、速度にムラのある走り方をすると、加減速の機会も多くなり、その分市街地で2%程度、郊外で6%程度燃費が悪化します。また、同じ速度であれば、高めのギアで走行する方が燃費がよくなります。交通の状況に応じ、できるだけ速度変化の少ない安全な運転をしましょう。

3

早めのアクセルオフ

「エンジブレーキを積極的に使いましょう。」

エンジブレーキを使うと、燃料の供給が停止される(燃料カット)ので、2%程度燃費が改善されます。停止位置が分かったら、早めにアクセルから足を離して、エンジブレーキで減速しましょう。また減速したり、坂道を下る時にはエンジブレーキを活用しましょう。

4

エアコンの使用を控えめに

「車内を冷やし過ぎないようにしましょう。」

気象条件に応じて、こまめに温度・風量の調整を行いましょう。特に夏場に設定温度を下げすぎないことがポイントです。外気温25℃の時に、エアコンを使用すると、12%程度燃費が悪化します。

5

アイドリングストップ

「無用なアイドリングをやめましょう。」

10分間のアイドリング(ニュートラルレンジ、エアコンOFFの場合)で、130cc程度の燃料を浪費します。待ち合わせや荷物の積み下ろしのための駐車車の際にはアイドリングを止めましょう

6

暖機運転は適切に

「エンジンをかけたらすぐ出発しましょう。」

現在販売されているガソリン乗用車においては暖機不要です。寒冷地など特別な状況を除き、走りながら暖めるウォームアップ走行で充分です。暖機することにより走行時の燃費は改善しますが、5分間暖機すると160cc程度の燃料を浪費しますので、全体の燃料消費量は増加します。

7

道路交通情報の活用

「出かける前に計画・準備をして、渋滞や道路障害等の情報をチェックしましょう。」

1時間のドライブで、道に迷って10分余計に走行すると14%程度の燃費悪化に相当します。地図やカーナビ等を利用して、行き先及び走行ルートをあらかじめ計画・準備をしましょう。また道路交通情報をチェックして渋滞を避ければ燃料と時間の節約になります。カーナビやカーラジオ等で道路交通情報をチェックして活用しましょう。

8

タイヤの空気圧をこまめにチェック

「タイヤの空気圧を適正に保つなど、確実な点検・整備を実施しましょう。」

タイヤの空気圧が適正値より50kPa(0.5kg/cm²)不足した場合、市街地で2%程度、郊外で4%程度、それぞれ燃費が悪化します。また、安全運転のためにも定期的な点検は必要です。

9

不要な荷物は積まずに走行

「不要な荷物を積まないようにしましょう。」

100kgの不要な荷物を載せて走ると、3%程度燃費が悪化します。車の燃費は荷物の重さに敏感です。運ぶ必要のない荷物は、車から下ろしましょう。

10

駐車場所に注意

「渋滞などをまねくことから、違法駐車はやめましょう。」

交通の妨げになる場所での駐車は交通渋滞をもたらす余分な排出ガスを出させる原因となります。平均車速が40kmから20kmに落ちると、31%程度の燃費悪化に相当すると言われています。